

平成17年度

家庭学習の 手引き

「生涯学ぶための

基礎となる学力を身につけるために」

鹿児島市立

錫山中学校

一 年	<ul style="list-style-type: none">生活の記録漢字(100字以上)宅習(1ページ以上)各教科から出された課題 朝,提出できない場合はその日の内に済ませて帰ります。
二 年	<ul style="list-style-type: none">生活の記録漢字(100字以上)(土・日は除く)宅習ノート(1ページ以上)各教科から出された課題
三 年	<ul style="list-style-type: none">生活の記録(160字以上)漢字(100字以上)(土・日は除く)宅習2ページ以上+プリント各教科から出された課題 忘れた場合は翌日までに提出します。

自宅学習の仕方

国 語	<p>毎日の提出物</p> <ul style="list-style-type: none">漢字100字以上(土・日は除く) <p>月末の提出物</p> <ul style="list-style-type: none">硬筆の清書 <p>学習の仕方</p> <ul style="list-style-type: none">学習しているところは必ずくり返し音読する。覚えるべき語は10回作戦を取ること。意味の説明できない語句は必ず辞書で調べ、ノートにまとめること。ワークや単元テストをした日は必ず、復習する。 (なぜ間違えたかを説明できるようになる) <p>その他の学習</p> <ul style="list-style-type: none">月に1冊以上は本を読むように心がける。新聞も読み、説明的な文章に慣れておく。
英 語	<p>1 英語を聞く(教科書用テープ,CD)</p> <ol style="list-style-type: none">最初はしっかりと集中して数回聞く。慣れてきたら,テープ,CDに合わせて読む。テープ,CDに合わせて,そっくり真似をして読む。 <p>2 重要文の練習(英語整理ノート)</p> <ol style="list-style-type: none">重要文の意味が言えるようになる。重要文が読めるようになる。重要文がスラスラ読めるようになる。重要文が暗唱できるようになる。重要文が書けるようになる。 (宅習帳に)

英 語	<p>3 新出語句の練習(英語整理ノート)</p> <ol style="list-style-type: none">新出語句の意味が言えるようになる。新出語句が読めるようになる。新出語句がスラスラ読めるようになる。新出語句が書けるようになる。 (宅習帳に) (ワーク,単元テストで仕上げ) <p>4 新しい文型の練習(ワーク)</p> <ol style="list-style-type: none">新しい文型は「基本文のワーク」の説明をしっかりと読んでから練習する。「基本文のワーク」が終わったら,「確認のワーク」をする。「確認のワーク」が終わったら,「まとめの問題」をする。答えあわせして,ミスしたところをやり直す。 (宅習帳に) <p>5 単元プリント(力だめし)</p> <ol style="list-style-type: none">答えあわせして,ミスしたところをやり直す。 (宅習帳に)同じような問題をやってみて,応用力をつける (中3は厚物) <p>以上のような宅習を毎日レベルをあげて続けてやれば,必ず力がついてきます。</p>
数 学	<ol style="list-style-type: none">基本を重視して復習を重点的にする。問題集を利用し,その日に習ったことの復習を必ずする。宿題に必ず取り組む。
理 科	<ol style="list-style-type: none">授業で学習した内容をその都度,宅習ノートにまとめたり,教科書を読んで復習する。学習した内容の理解の定着を図るために教科書ワークに取り組み,答え合わせをして間違った問題をノートにやり直して理解度を高めていく。
社 会	<p>1 予習の仕方</p> <ul style="list-style-type: none">教科書の見出しの下に出ている課題や,予習課題を頭に入れて教科書を読む。この時,自分がわからない言葉や地名などは赤線を引く。次時の指定された予習課題を教科書・地図・資料・参考書・辞典等で調べる。次時の学習内容と関連する事項(地名,人名,用語)について自分で調べる。予習でわからなかった所,疑問に思ったことはノートに書き出しておく。調べたことは参考書や辞典を写すのではなく簡単にノートにまとめて書く。 <p>2 復習の仕方</p> <ul style="list-style-type: none">その日学習したところの教科書を読み,合わせてノート,地図,資料,参考書などを見て,整理帳に整理して書く。基礎的事項(教科書の中の太字・ノートの色文字の事項)を何回も言ったり,書いたりして覚える。「自主学習」や「問題集」でドリルする。「社会の整理と研究」(厚物)も学習の進捗にともなって計画的に学習する。